事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和７年１１月２３日（１３：００～１４：００）

１．初期支援（はじめのかかわり）	ﾒﾝﾊﾞｰ	小規模職員　１３名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	８人	５人	人	１３人

前回の改善計画
利用開始前のケース会議を行う。利用開始前に、ケアマネから本人・家族から情報を聞き取ってもらう。

前回の改善計画に対する取組み結果
ケース会議は実施できなかった。 利用開始前にケアマネが家族からの聞き取りを行い情報共有を行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	1	7	5		１３
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	1	１２			１３
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	1	１１	1		１３
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？		１１	2		１３

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

個票等で情報を確認し、利用者が不安にならないよう心掛けている
ミーテイングや会議などで情報共有はできている　連絡帳の活用　送迎時に家族へ情報提供
利用者情報は大まかなものは確認できている　書面での情報が役立っている。　言葉遣いや気遣いに努めている。写真活用した情報共有に努めた。利用初めは接した様子を記録等で共有した。不安や困っていることを受け止めて他の利用者とのかかわりに配慮した

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

事前情報が少ない　情報確認、話し合いがしっかりできていない。時間がないこと、中心となって話を進める技量がない　本人の意向より家族の意向等が中心
ケース会議、プラン更新のモニタリング　ケース会議開催の仕組みがない
利用者の細かい情報　職員間で共有するのがギリギリになってしまう　情報以外のことが出てきたときは初期支援で対応に困る。

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

定期的なケース会議、ケアプラン更新のモニタリング開催の形づくりをする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和７年１１月２３日（１３：００～１４：００）
２.「～したい」の実現（自己実現の尊重）	ﾒﾝﾊﾞｰ	小規模職員　１３名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	８人	５人	人	１３人

前回の改善計画
ケア会議の開催　２４シートに個人の情報を細かく記載し、プランに沿った記録を残していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
利用者の一人ひとりに向き合ったケア会議は行えなかった。 ２４シートの情報の記載が適切に行えていない（更新も）

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	1	7	4	1	１３
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1	8	3	1	１３
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	1	3	8	1	１３
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	1	5	6		１２

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
家族の負担軽減や思いに重きをおき在宅生活を送る手助けを行っている 支援内容の理解が不十分　本人の話を聞くようにしている　記録に目を通し必要に応じ相談している　個別での余暇活動　利用時には笑顔にあっていただく　伝達事項は申し送る　対応可能なことは行っている 日々の情報は共有できている　利用者の情報共有に努めている	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
家族からの情報の共有　記録に名越して共有されるところが少ない　細かい記録に目を通すことができない　本人の思いを記録に残すが、実現までに至らない　ケース会議の仕組みができていない 聞き取りが継続して行えていない　利用者担当の役割が不十分 全員分のケアプランや介護計画書を覚えていない。（担当分は把握している）　ゴールを把握し共有できていない　２４シートが活用されていない　得た情報の記録が継続していない　家族の情報が伝わりにくい	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
定期的なケア会議開催の手法を検討し、形にしていく。 ２４シートの活用、プラン更新方法について学ぶ機会を作る。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和７年１１月２３日（１３：００～１４：００）
３．日常生活の支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	小規模職員　１３名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	７人	６人	人	１３人

前回の改善計画
個別ケア委員会を立ち上げ、ケア会議で話し合った意見をまとめ、２４シートに反映し、自宅、施設での支援に繋げていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
個別ケア委員会の立ち上げができなかったが、各担当職員が介護計画書をもとにしたケアの見直し等を行い、２４シートに反映することは部分的に実施できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？	1	3	7	2	１３
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	2	１０			１２
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1	7	4		１２
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	1	１０	2		１３
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	1	１０	2		１３

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

利用者に対する傾聴　状況や体調変化への対応
個人票や記録の確認、ミーテイングの実施
介護計画書をもとに対応している
訪問時の手順書により統一した支援がしやすい

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

声にならない思いをくみ取れていない。共有されていない　ケース会議の仕組みがない
生活環境の把握　自宅での情報が少ない
２４シートに対する見直しや話し合いがない
状況の変化などを確認して欲しい。担当職員の思い、見直しができていない　状況変化などによる変更が共有できていない

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

担当職員が主となったケア会議実施の仕組みを作る。（午後のミーティングの活用）
２４シートの活用、更新等を学ぶ機会を開催する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和７年１１月２３日（１３：００～１４：００）
４．地域での暮らしの支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	小規模職員　１３名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	３人	５人	４人	１２人

前回の改善計画
今後も地域、家族に向けての情報発信は継続していく。 地域委員会と連携し、ボランテイアの受け入れなど検討している。

前回の改善計画に対する取組み結果
地域委員会との連携、ボランテイアの受け入れもできていた。情報の発信も多方面から行われていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	1	4	7	1	１３
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	1	3	5	2	１１
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	2	8	3	１３
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	1	3	5	4	１３

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
介護者の思いは聞くようにしている。 個票で確認している　２４シートやミーテイングでの情報共有　地域資源の活用 地域の方が講師できてくれている	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
周りの方々からの聞き取りができない。もともと近所の方と接点が少ない 自宅での生活の把握は不十分　個票の更新がされていない　対応等に困ったときにしか詳しく知ることができない。職員体制、協力が取りづらい。責任の所在がはっきりしていない。事業所の地域の中での役割がわかりづらい　得た情報が記録に反映されていない　地域の行事に参加できなかった	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
今後も現在の取り組みを継続していく。 ケアプランの更新時のモニタリングにおいて地域資源の活用についての検討をし、職員の理解に繋げていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和７年１１月２３日（１３：００～１４：００）
５．多機能性ある柔軟な支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	小規模職員　１３名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	１人	４人	５人	２人	１２人

前回の改善計画
小規模多機能の勉強会をし、事業所の役割の理解を深める。 家族、地域資源を活用し、在宅支援に繋げていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
小規模多機能についての勉強会は実施できなかった。 ボランテイアや地域の融資の方々の力を借りて、在宅生活の継続につながっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		5	6	1	１２
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？		１１	2		１３
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	1	8	4		１３
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	1	１０	2		１３

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

状態、ニーズに合わせ対応されている　ミーテイング、スタッフ会議　地域資源の活用　ボランテイアの受け入れ
記録等に日々目を通し共有するようにしている。職員間での情報共有
申し送り、相談、検討ができている。必要な医療機関と連携している。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

地域資源の利用が少ない　活用方法がわからない　機会がない
地域との情報共有、情報発信　包括との連携　地域との交流の場があるが参加していない
家族の意向の方が重視される　よい変化に目が行きにくい

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

多職種（地域含む）との連携を深める。
事業所の職員がまずは小規模多機能居宅介護事業の役割を理解していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和７年１１月２３日（１３：００～１４：００）
６．連携・協働	ﾒﾝﾊﾞｰ	小規模職員　１３名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	６人	３人	２人	１１人

前回の改善計画
外出の企画を定期的に立案し、実行していく。 他施設と協力体制をとり、交流に繋げていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
ドライブ、施設外でのレク活動、フラワーアレンジメントやわっかふぇの職員、利用者との交流 音楽ボランテイアの受け入れ

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		4	4	3	１１
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		4	2	3	9
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		4	2	5	１１
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		7	2	3	１２

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
他のサービス機関との連携　行事の企画　ホームページを活用したボランテイアの呼びかけ 担当者会議における他機関との連携 ボランテイアが定期的にきてくれる　　町内の活動、市の活動へ参加 地域のイベント	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
外に出る機会が少ない　イベントや行事への参加 自治体や包括主体等の主催の会議には参加できていない。 人員配置、車両 計画しても天気に左右される	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
外出支援のボランテイアの募集をする。（イベントや行事の参加に向けて） 早めの計画を立案し必要に応じ、他事業所から車両の貸し出しの協力を依頼する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和７年１１月２３日（１３：００～１４：００）
７．運営	ﾒﾝﾊﾞｰ	小規模職員　１３名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	１人	６人	２人	３人	１２人

前回の改善計画
・地域の方々に、施設を知ってもらうための方策を検討し、実施していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
広報委員会による情報の発信、地元新聞の協力、地域の運営委員会からの施設利用や情報発信

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？		4	5	3	１２
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	7	2	1	１２
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	5		2	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	2	3	4	3	１２

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

意見、苦情に対して改善している。会議で話し合っている。
運営推進会議、地域の新聞店からの情報発信　ホームページの活用　インフォーマル
地域活動への協力　広報紙による情報発信

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

施設全体としての取り組みが少ない
職員の温度差がある（社会資源についての理解不足）
家族からの情報が少ない
積極的な地域との活動

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

今後も地域に向けて情報発信を継続していく。
防災への協力体制、今まで小規模が中心となり取り組んでいた活動を今後は施設の取り組みとして広げていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和７年１１月２３日（１３：００～１４：００）
８．質を向上するための取組み	ﾒﾝﾊﾞｰ	小規模職員　１３名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	１人	７人	３人	１人	１２人

前回の改善計画
ヒヤリハットの前段階についても、その都度記載し、係を決めて集計・分析をして予防対策として取り組みを行う。

前回の改善計画に対する取組み結果
ひやりはっと検討委員を決め集計、分析を行っている。(支援内容に必要なものは情報共有し、ケアプランに反映してもらっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	2	7	2	2	１３
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	5	3	3	１２
③	地域連絡会に参加していますか	1	2	2	7	１２
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	1	9	3		１３

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ヒヤリハットで対応、検討会の開催　法人、施設研修 事故防止のためのヒヤリハットの記入、対策 リスクを防ぐため職員間で声を掛け合い対応できた	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
予測（先をよむ）すること　意見がでない　自分のこととして考えが及ばない 検証が不十分、地域会議への参加 独居の方の夕食後薬の確認が難しい　ヒヤリハットの活用	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
ひやりはっと委員会の継続、各職員はリスクマネジメントの研修に参加し知識を深める。 毎月の地域開催の福祉委員会に参加する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和７年１１月２３日（１３：００～１４：００）
９．人権・プライバシー	ﾒﾝﾊﾞｰ	小規模職員　１３名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	１２人	１人	人	１３人

前回の改善計画
毎日の申し送りの際に、その月の目標を唱和し、人権意識を高めていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
目標の唱和は行わなかった。会議で不適切ケア、虐待に関することについて定期的に話し合いの機会を持ち、人権意識を高めている。 s

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	7	6			１３
②	虐待は行われていない	5	8			１３
③	プライバシーが守られている	2	9	2		１３
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	7		1	9
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	9			１２

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
毎月の会議で振り返りをしている。研修や会議 身体拘束０　不適切ケアについて話し合えた。 職員間での見守り、フォロー	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
内容が反映されていないことがある。気持ちの余裕がない。対応について話し合いの場がない。言葉づかいで利用者に不快な気持ちにさせる。発する側と受け取る側での違い。声のトーンや大きさが反省点 自分の考えを優先し相手の言葉を否定している。人権、プライバシーに配慮しての対応が不十分 職員間の注意や声がけ	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
会議での人権、プライバシーについて話し合い、対応についての振り返りや見直しを行っていく。（職員が発信できる場の提供）	